

2021年9月7日

## デルタ株による感染拡大を受けての注意喚起とワクチン接種について

コロナ禍においても、東京都立大学の皆さんが日々の学修・課外活動・研究に励んでおられることに、学長として心より敬意を表します。

デルタ株への置き換わりによって若者を中心に感染が急拡大したことにより、本学においても、学生・教職員を含めた学内感染者数は、本年6月の5名から、7月は33名、8月は46名と急増しています。

感染力が強いデルタ株に対しても、とるべき対策はこれまでと大きくは変わりません。強いウイルスに対して重要となるのは、1人1人のより強い心構えです。

身近に感染者がいることを想定して、正しいマスクの着用、十分な換気、飲み会や会食の自粛、日々の体調管理といった、基本的な対策を徹底していきましょう。

また、現在、東京都との連携により、南大沢キャンパスにてワクチン接種を行っています。

日々の感染対策と合わせて、皆でキャンパスライフを少しでもコロナ禍前の日常に戻していけるよう、本学のワクチン接種会場も活用して、積極的なワクチンの接種をお願いします。

東京都立大学 学長 大橋隆哉